

G8は、食料危機への具体的な対策を

2008/5/28

昨今の食料危機は突如として現れたように見えるものの、全く予想できなかったわけではありません。新興富裕層の増大による需要の高まり、農業生産増加への十分な投資の失敗、小麦ととうもろこしのエタノール生産への転用、米ドル価値の下落、燃料価格の高騰、投機的投資の増大、そして作物の不作などがすべて食料危機の出現へと結びついています。

小麦やとうもろこし、米の需要増加は、食料価格高騰を引き起こし、貧困国における食料入手に困難をきたしています。世界の最も貧しいコミュニティのために約 100 力国で活動する世界最大級の NGO の一つとして、ワールド・ビジョンは、食料危機がコミュニティや子どもたちへ与える衝撃を目の当たりにしています。世界は、食料危機をくい止め、何百万人もの人々の生活を悪化させないため、迅速かつ決然たる献身的な態度で行動を起こさなければなりません。

G8 は、世界最大の経済規模を持つグループとして、この危機への対策を牽引する責任があります。今年、今こそ、行動を起こさなければなりません。

食料危機の影響

食料危機は、貧しい人々に、さまざまな影響を与えています。今日、私たちがその影響を目のあたりにしているものもあれば、今後数年にわたって一見ではわからないものの、世界の開発課題に確かに影響を与えることになるものもあります。

食料危機は、あらゆる途上国のコミュニティにおいて、食料不足と物価上昇を引き起こしています。ワールド・ビジョンのスタッフは、事業の現場で既にコミュニティへの影響を目にしています：

- チャドでは、ワールド・ビジョンが地域開発援助プログラム(ADP: Area Development Program)を実施するコミュニティに住む 55,000 人以上が食料不足に直面しており、家庭の収入が食料に使われるにつれて、保健医療の状況が悪化しています。
- エチオピアでは、ワールド・ビジョンが支援するコミュニティに住む 100,000 人近い人々が、食料危機に起因する 20%の食料価格の上昇に直面しています。多くの家庭は財産を売って食費に当てています。農業原材料価格の上昇にも同様に対処しており、短期的で持続可能ではない解決方法をとっています。
- ソマリアでは、ワールド・ビジョンが支援するコミュニティに住む 200,000 人もの人々が 300%もの食料価格高騰の影響を受けています。すでに人々の間に栄養不良の初期症状が確認されています。

食料危機の短期的影響が顕わになる一方、長期的には、最も貧しい国々における開発に悪影響を与えることが懸念されます。物価上昇による食料不足は、子どもたちや、HIV/エイズの影響を受ける人々に、最も大きな打撃を与えるでしょう。2 歳未満の子どもたちの栄養不良は、長期的な健康問題を引き起こし、関連した開発課題の原因にもなります。子どもたちの栄養状態が悪化することで、下痢、マラリア、肺炎などの疾病にかかりやすくなります。

食料価格の高騰により、特に最貧困層の家庭では、家計の多くを食料の購入に充てる必要がでてきます。結果として、子どもたちは学校を退学させられ、場合によっては、家計を支えるために働きに行かされるかもしれません。食費が家計の多くを占めることで、病気の人や弱い立場にある人は、保健医療サービスにアクセスできなくなるでしょう。病気によって体力を奪われている人々には、食料価格の高騰に対処するために購買力を高めることは不可能です。

過去 5 年間に、開発の分野では様々な成果がありました。5 歳未満で亡くなる子どもの数は年間 1000 万人の水準を下回るようになり、子どもの就学率は飛躍的に向上し、マラリアやその他の疾病対策への投資は増大しました。しかし、緊急の対策がとられなければ、食料危機が、これらの成果を台無しにし、途上国の状況は後退してしまうでしょう。

食料危機への対応として、G8 が行うべきこと

ワールド・ビジョンでは、昨今の食料危機には、短期的・長期的双方の側面があると考えています。まず、子どもたちとその家族が栄養のある食物を確保できるよう、緊急措置が必要です。同時に、長期的影響を軽減し、生活を維持向上させ、次世代を守るため、予防的な措置をとらなくてはなりません。

192 カ国が子どもの権利条約を批准しています。この条約は、生存と十分な栄養を得る権利を含みます。今日の危機への対応において、子どもの利益が中心に置かれなくてはなりません。

そのため、ワールド・ビジョンは G8 に対し、北海道で 7 月に行われる G8 サミットで、以下の決断を表明するよう要望します。

- 食料危機への対応の中で、子どもの飢餓と栄養失調の予防を優先化してください。
- 国連世界食糧計画(WFP)に誓約した資金を迅速に満額拠出することに合意し、途上国が脆弱なコミュニティでセーフティーネット事業を実施できるよう、災害予防基金を設立してください。
- 保健システムが確実に強化されるようにしてください。この危機が拡大するにつれて、5 歳未満の子どもとその家族が必要とする保健システムにかかる負荷は増大するでしょう。G8 は、保健システムを通じたアプローチを発動し、あらゆるレベルにおいて栄養状態の適切なモニタリングが行われるようにする必要があります。さらに、疾病予防や、安全な水の提供を含む必須サービスを提供できるよう、従事するスタッフが訓練されなければなりません。これらの必須サービスの提供が、必要なところで強化され、拡充される必要があります。
- 緊急措置と農業増産戦略の調和を目的とする世界銀行の「世界食料のためにニューディール政策」を支持してください。ワールド・ビジョンは、農業生産への投資拡大を求めます。特に、小規模農家への支援を拡大するとともに、土地特有で栄養価の高い粟・キビや豆類などの「忘れられた穀物 (forgotten crops)」の利用を促進するよう求めます。また、小規模農家に悪影響を与えている土地利用の調査を求めます。
- ドーハ開発ラウンドについて、G8 は「農業協定」が下記を保証するようにする必要があります。
 - 途上国の農家の市場への参入を妨げている、富裕国によってつくられた不公正な農業貿易政策を終結させること。
 - 周辺に追いやられた農家の利益を保護し、農業の発展を促進できるように、発展途上国に政策決定権を与えること。
- バイオ燃料は現在の食料危機を牽引している要因の一つです。食料からバイオ燃料へと作物を転用することによる、商品価格、飢餓、そして影響への影響を監視するための緊急のプロセスを G8 は呼びかける必要があります。食料危機の影響を軽減するために、G8 は他のドナー国とともに、追加的な支援を途上国に行う必要があります。
- この危機を終結させるための一貫した共通の方法を探し出すために、G8 各国、影響を受けている途上国、そして国際機関の参加を募り、食料危機に関する緊急サミットを召集することに同意してください。

これらの食料危機に関する提言に加えて、G8 は既存の公約を守らなくてはなりません。2005 年に、G8 各国は貧困削減のために行動をすると約束しました。しかしながら、G8 はこの約束を守れていません。G8 各国からの援助増額は、2005 年に約束した水準の 3 分の 1 程度にとどまっており、2005 年に約束した 500 億ドルの追加拠出のレベルを下回っています。WTO のいわゆる「開発ラウンド (Development Round)」は未終結なままです。今年、2008 年は、ミレニアム開発目標の中間地点にあたります。迅速に行動を起こさなければ、ミレニアム開発目標、特に目標 1、4、5 の達成は難しいでしょう。

援助増額、HIV／エイズや様々な保健課題に関する公約は、本当にわずかしか守られていません。第 2 次世界大戦以来の世界最大の危機の一つに直面している今こそ、G8 は、世界のために、特に貧しい人々、飢えの中にある人々のために、リーダーシップを発揮するべきです。